

## 放課後等デイサービス

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		療育ルームりんごの木		公表日		2025年1月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	●工夫している点	◆課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	●当園の訓練指導室は約70mあります。国の設備基準以上の広さを用意しております。集団活動が行えるよう、指導員の目が届く死角のない一つの空間です。	◆引き続き、安心・安全な環境作りを心がけていきます ◆年齢や活動に対しては狭く感じることもあるため、活動内容を工夫していきます		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	●国の人員配置基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。さらに、保育士、言語聴覚士、公認心理師、音楽療法士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置を努めております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	●児童がわかりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には玩具を片づけるなど工夫しています。階段に手すりを設置していますが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状です。必要な場合は職員が階段の上り下りを補助し、安全への配慮を心がけています。	◆引き続き、わかりやすく、過ごしやすい環境となるよう、配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	●毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。常時空気清浄機を稼働し、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できます。 ●感染症予防のため、次亜塩素酸水で除菌清掃しています。また、二酸化炭素濃度測定器を設置し、換気の徹底に努めています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	●本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室(事務室)で対応しています。	◆引き続き、安心安全な環境づくりを心掛けていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	●PDCAサイクルを心がけ、週に1回職員ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。	◆引き続き、PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	●平成30年度よりホームページで評価、公表を行っています。引き続き検討、改善に繋がっていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	●職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	◆引き続き、意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8	●現在は利用者と社内の評価のみとなっております。外部講師によるケース検討、実習生の受入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	◆第3者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	●外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。 ●職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています。	◆引き続き職員の資質向上に努めます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	●2024年9月に支援プログラムを作成、ホームページにて公表しております。	◆保護者の皆さんが周知できるよう努めます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	12	0	●適切なアセスメントができるよう職員全員が外部講師によるアセスメント研修を受講しています。お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で、個別支援計画を作成しています。	◆引き続き包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めます。		

適切な支援の提供	チェック項目			●工夫している点	❖課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	●お子さんに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。	❖職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきます。
14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	●ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画もいつでも確認できるようにしています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	●外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。 ●適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い個別支援計画を作成しています。	わからない=1名 ❖引き続きフォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。
16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	●放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。	わからない=1名 ❖引き続きお子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めています。	❖引き続きプログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設定し、多くの職員が参画していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	●子どもやグループの特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定化しないためのプログラム立案に努めています。	❖引き続きお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	●一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	❖引き続き個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	●活動開始前に打ち合わせを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合います。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	●活動終了後も30分程度ミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行い、共有します。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	●日々の支援について個別記録を徹底しています。それらを次回のステップアップや改善につなげていきます。	
23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	●概ね6カ月に1度、見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	5	5	●現在、音楽療法活動を通して成功体験を積み自己肯定感を高める、他者と関わる、表現する喜びを体験する等の場面を設けながら支援しています。主体的に参画できる活動を多く取り入れています。	❖地域交流、学校との連携の部分が弱く、検討課題です。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	12	0	●活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	●開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席します。	わからない=1名

	チェック項目	はい	いいえ	●工夫している点	◆課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	●必要に応じて関係機関との連携を図っています。	◆関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	3	8	●保護者を通して情報を得ています。また、学校見学会などの機会を利用しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	●同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者は情報共有がなされています。その他の利用者は必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	8	●これまでご要望がありませんでしたが、情報提供等をする体制はあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	●こども発達支援センターで発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。またこども発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しています。	わからない=2名 ◆センター機能の情報収集をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	●ご本人の発達支援や余暇活動の充実をご希望される方が多いため、当施設から放課後児童クラブや児童館に直接出向いて交流する機会は設けておりません。	わからない=1名 ◆ご要望に応じて今後の検討課題とします。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	5	●現在、参加は実施しておりませんが、要請があれば参加の体制はあります。地域連携に関連するものとして、練馬区障害福祉サービス事業者連絡会や要保護児童対策地域協議会に参加しています。	わからない=1名
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	●日々の送迎やフィードバックの際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	◆話しやすい相談支援体制を構築するよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	●今年度、保護者向けの研修会、幼児の保護者向けのペアレントプログラムを実施しました。	◆学童期向けの研修会の要望もありましたので今後の課題とします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	●契約時に説明させていただいております。また、不明な点は随時職員が説明するようにしています。利用者負担は変更がある度にお知らせしております。	◆利用者負担は単位や加算などがわかりにくいいため周知方法への工夫が必要です。
37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	●お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。		
38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	12	0	●支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。		
39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	●半年に1回程度の保護者会や相談したいことがあれば適宜面談日を設定しています。		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	●保護者会を年2回開催し保護者同士の交流の機会を保障しています。	◆きょうだい児支援については支援方法など要望を伺いながら今後の課題としていきます。	

保護者への説明等	チェック項目	はい	いいえ	●工夫している点	◆課題や改善すべき点
保護者への説明等	41	12	0	●相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	◆引き続き迅速な対応に努め、相談支援体制の周知を図ります。
	42	12	0	●必要に応じて連絡事項などの情報を「りんご通信」やメール配信システム「マチコミメール」やホームページ上にて発信しています。	◆今年度も引き続きより良い活用方法を検討していきます。
	43	12	0	●個人情報に記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮しています。	
	44	12	0	●行動から読み取る、ボードに書く、ことばと身振りを組み合わせるなど、それぞれのこどもの意思表示の仕方を職員が理解し、相互の伝達方法に配慮しています。	
	45	10	1	●お祭りや発表会のような行事は設けておりませんが、事業所として、大学の実習生を受け入れたり、事業所主催研修会に地域の関係機関の職員を招待するなど、地域に向けた事業運営を図っております。	わからない=1名
非常時等の対応	46	11	0	●事故、災害、感染症などのマニュアルについて職員会議にて対応方法などの確認を行い、保護者会にて説明しています。安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	△=1名
	47	11	0	●BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、保護者や自治体との連絡訓練を行っています。	◆安全性が担保された上で子どもと一緒に外部へ避難する訓練が課題です。 ◆BCPの職員への周知を図ります。 △=1名
	48	12	0	●利用開始の際、健康状況票を保護者の方に記入していただき確認しています。また必要に応じて聴き取りも行っています。	◆緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うようにしていきます。
	49	12	0	●食事提供はしていませんが、アレルギーの原因となりうる教材の使用は見合わせるか保護者の方の同意を得た上で使用することもあります。(小麦粉年度、牛乳パックなど)	◆指示書がある場合は職員間での周知を図ります。より良い周知方法を検討していきます。
	50	12	0	●安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	◆安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っています。
	51	12	0	●安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて「りんご通信」やマチコミにて周知に努めています。	◆保護者へのお知らせが安全計画に基づいて行われていることへの周知が不足しているため、よりわかりやすい周知方法を検討します。
	52	12	0	●危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
	53	12	0	●外部研修に職員が参加したり職員ミーティングにて内部研修を行います。意思表示支援等による権利擁護にも意識し、日頃から支援の振り返りを行うよう心がけています。	
	54	12	0	●身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。	